

令和5年2月20日

保護者の皆様

吹田市立南山田小学校  
校長 江下 毅

## 学校アンケートの結果について

「学校教育アンケート」にご協力いただき誠にありがとうございました。

今回、各家庭にアンケート調査をお願いし 972 通（回収率は 98.6%）の回答をいただき、集計結果をまとめました。この調査は例年ほぼ同じ項目で実施しており、経年比較も含めた結果をもとに、学校の教育活動を検証し、今後の学校教育の活性化や改善の資料として活かしてまいります。

### 【1. 児童アンケートより】

1 今年度、肯定的意見が特に大きく増えた項目は以下の項目でした。

【全学年】・授業で外へ行ったり実験・観察したりする。

- ・先生は色々工夫をして教えてくれて授業がわかりやすい。
- ・ipadを使って学習をしている。
- ・「あゆみ」を見ると自分の学習の様子がわかる。
- ・学校行事は楽しい。
- ・地震や火災、不審な人が現れたときどうしたらいいかを教えてもらっている。

【低学年】・先生が頑張ったことをほめてくれる。

- ・クラスで意見を発表している。

2 昨年度と比べて、肯定的な回答が減少した項目は以下の項目でした。

【全学年】・学校が楽しい。

- ・授業で自分の考えをまとめたり発表したりすることがある。
- ・授業でわからないことについて、先生に聞きやすい。
- ・クラスの先生の他にも、気軽に相談できる先生がいる。

【高学年】・クラブ活動は楽しい。

- ・児童会活動はやりがいがある。

今年度、すべての児童が「学校へ行くのが楽しい」と思うことができる学校づくりを目指して、「やってみよう！」を重点とし、より主体的に取り組める児童の育成に取り組んできました。今回の調査では、肯定的な回答が80%以上の項目が多い中、「学校へ行くのは楽しい」と感じている児童の肯定的回答が昨年度より減少しており、「思わない」と感じている子ども達が5%程度いるという結果になりました。それぞれに個別の理由があると思いますが、多様な子ども達の思いを受け止めながらも、学校としての取り組み意図を伝えることで、子ども達自身が成長を感じることができる取り組みを進める必要があると改めて感じています。

昨年度肯定的な意見が減少していた「「あゆみ」を見ると自分の学習の様子がわかる」の肯定的回答が増加したことは、あゆみが、子ども達自身の学習を振り返ることができる手立てになる

よう説明をしたり、渡し方の工夫をしたりした成果であると考えています。また「ipadを使って学習をしている」「先生は色々工夫をして教えてくれて授業がわかりやすい」の肯定的回答が高くなっていることも、1人1台の端末の活用や、パワーポイントなどを使った視覚的な教材等を活用した授業の工夫により、分かりやすい授業づくりに取り組んできた成果だと考えます。

また低学年において、「先生が頑張ったことを褒めてくれる」と感じることができている児童が増えたことも、学校生活の中で自己肯定感を高める機会があり、より主体的・意欲的に学校生活を送ることができることに繋がっていると考えています。

さらに、コロナ禍での教育活動の制約が少しずつ緩和されたことにより、従来の学校行事や授業内容が戻ってきたことで、異学年の繋がりや活躍の機会ができたことが意欲的な学校生活に繋がり、「学校行事が楽しい」と感じている児童が増えていることがアンケートを通してみることができました。

一方で、昨年度肯定的な回答が多かった「授業で自分の考えをまとめたり発表したりすることがある」「授業でわからないことについて、先生に聞きやすい」「クラスの先生の他にも、気軽に相談できる先生がいる」が今年度は肯定的意見が減少しました。これは、授業や生活の場面で子ども達が自ら考えたり行動したりすることに重点をおいた指導が、子ども達に成果として実感したり、良かったと感じることができたりするまでに至らなかったと分析しています。今後、自身の成長を子ども達が実感できるように、現状や実態を踏まえた学級及び学校全体としての取り組みを進め、子ども達が安心して質問や相談ができる環境を意識して、取り組んでいきたいと考えています。「授業が楽しい」「毎日が面白い」「学校が安心」の三本柱を実現するために、子ども達が自身の成長を実感でき、次の成長に進んでいくことができるような重点目標を設定し、教職員の指導方法の充実を図り、安心して学ぶことのできる学校づくりに努めてまいります。

### 【2. 保護者アンケートより】

1 肯定的回答が80%以上の項目は、21項目中16項目でした。特に高い評価の項目・昨年度より大きく増えた項目は、以下の項目でした。

- ・子どもは学校に行くのを楽しみにしている。
- ・子どもは給食を楽しみにしている。
- ・学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切であり、教育方針・内容をわかりやすく伝えている。
- ・学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。
- ・学校が保護者に授業参観や学校行事などを公開する機会は適切である。

2 昨年度と比べて、肯定的な回答が減少した項目は以下の項目でした。

- ・子どもは、授業が分かりやすいと言っている。
- ・先生は、子どものことについて相談に気軽に応じてくれる。
- ・先生は、子どもを理解してくれている。

3 肯定的な意見が特に少なかった項目は以下の項目でした。

- ・学校の設備・学習環境はほぼ満足である。
- ・PTA活動に積極的に参加している。

例年と同様に、肯定的な回答が80%以上であったことや、肯定的な回答が増えた項目があることは、学校として、教職員が同じ方向を向いて取り組むうえでとても心強く、ありがたいと感じています。

今年度は教育活動も With コロナが進み、少しずつ平常の活動に近づけることができました。運動会・音楽会・授業参観など工夫をして行ったことで、たくさんの保護者の皆さんに子どもたちの頑張りをを見ていただけたことが、子ども達の励みとなり、今回のアンケートの結果に表れたのではないかと思います。また、学校からご家庭への連絡について評価いただけたことは非常にうれしいことと考えています。そして今年度も、お子様が「学校に行くのを楽しみにしている」と90%近く感じていただけていることも、学校としての励みになります。

しかしながら、昨年度と比較をした時に、「子どもは、授業が分かりやすいと言っている。」「先生は、子どものことについて相談に気軽に応じてくれる。」「先生は、子どもを理解してくれている。」の項目について、肯定的な意見が減少しました。子ども達のアンケート項目で高学年の「先生は私たちの話を聞いてくれる」の肯定的回答が少し減少していたことも含めて、より子どもに寄り添った指導や支援に努めることを大切にしていきたいと考えます。また、授業の分かりやすさについては、子ども達と保護者の受け止めに違いはありました。子ども達がより分かりやすいと実感できるよう工夫した授業を行うこと、その内容を発信することで、ご家庭でも支援していただけるよう進めていきます。

また、昨年度と同じ傾向ではありましたが肯定的回答が少なかったのが「学校の設備・学習環境はほぼ満足である」と「PTA活動に積極的に参加している」でした。学習環境については、子ども達がよりよい環境で学習に取り組むことができるよう、市にも依頼をしながら取り組んでまいります。またPTA活動については、今年度も本部役員を中心として、インターネットやSNSの活用を進め、負担を軽減しながら、継続可能なPTA活動を目指してくださっています。今後も子ども達を支える観点から、一人ひとりができる範囲で積極的な参加を促していけるPTA活動を目指してまいります。

### 【3. 保護者の皆様からのご意見より】

今年度も保護者の方々からたくさんの貴重なご意見、ご感想、そして温かいお言葉をいただきました。また、記名にもご協力ありがとうございました。ご記名でいただきましたご意見は、お子様や保護者の皆様のお顔を思い浮かべながら改善に向けて対応等を検討することができるため、大変ありがたいです。また日ごろ疑問に感じておられるご意見は、担任や管理職に直接お話いただくと、学校の取り組みに反映することができると考えています。ここでは、全体に関わる内容について趣旨を記載し、回答させていただきました。いただいたご意見は、全教職員が目を通し、今後の教育活動に活かしてまいります。ご理解の程よろしく願いいたします。

《学校の行事や下校時間等について》

- ・学校行事を月初めにばかりしないで欲しい。
- ・下校時間が早まる圧縮や4限などは、2カ月以上前に知らせて欲しい。
- ・学校行事の際、アナウンスが再三あるにも関わらず自転車で来られ、ぐるぐる階段の下やディアヒルズ来客用駐輪場に停められる方が一定数おられます。コロナで保護者は制限されている行事だけでも自転車可にされてはどうかと思います。

各行事においては、何とか多くの子どもたちの姿を見て頂くために、実施方法や時期について、できるだけ参観の学年の組み合わせが同じにならないように、実施日について検討しております。しかし、行事は月初めに多かった現状もあるので、再度来年度に向けて検討をしていきます。また、様々な調整もあり、予定は1カ月前を目途にお知らせしております。今後もできるだけ早いアナウンスを心がけて計画してまいります。

学校行事の際の自転車での来校については、学校からもPTAからもお知らせしている通り、スペースの関係で不可としております。学校までの場所への駐輪は地域の皆さまの迷惑になるため絶対におやめください。ご協力お願いします。

《学校からの連絡について》

- ・学年だよりや返事の必要ないお便りなどは、メール配信していただけると助かります。また、児童数も多いので資源の削減にもつながると思います。
- ・大事な行事や持ち物等、学年だより1枚のプリントに色々書かれていて見落としがち。その都度、配付や連絡を希望。

来年度より、欠席連絡等を保護者の情報端末を活用してできるシステムが導入される予定です。全員登録をしていただくことになるため、そのシステムを活用した連絡方法についても現在検討中です。保護者の皆様にできるだけ確実でわかりやすく、そして早くお知らせができるよう工夫をしていきます。また児童にも1人1台のipadを活用した連絡や学習支援も含め、有効活用を進めます。

### 【4. まとめにかえて】

「心を磨き 志を育む」という教育目標のもと、重点目標を掲げ、昨年度よりさらに子どもたちが意欲的に取り組むことができる教育活動を目指して取り組んできました。子ども達が、『やってみよう!』と「主体的」に学ぶ姿を作り出し、『友だちと一緒にこんなことできた!』と「協働」と「深まり」を感じるができること。これは、今後も追求し続けたいテーマです。今回のアンケートを通して、子ども達が自ら考えたりまとめたりする活動に意味や楽しさを実感できるよう、教職員が意識をしながら様々な取組を進めていくことが重要であると、改めて考えられています。また、取組を通して成長する子どもたちの姿の発信に努めますので、ぜひ子どもたちの生活や行事等の様子をご覧いただき、ご家庭で学校の話をする際の話題としていただきたいと思います。ご家庭で、学校での活動内容や活動を通して考えたことを言語化できるようにしていただくことで、子ども達がさらに自分たちの活動を意識したり、成果を実感したりできるようになります。ぜひ一緒に子ども達の成長を支えていただきたいと思います。

今後も子どもたちの「生きる力」を育てる組織的な学校体制をより確かなものにするために、保護者の皆様から頂いたご意見を学校として真摯に受けとめ、学校と家庭がコミュニケーションを図りながら「質の高い教育の創造」に努めてまいりたいと考えております。ご理解ご協力をよろしく願いいたします。